

1997年 釜山国際映画祭コンペティション "New Currents"
 1997年 ストックホルム国際映画祭
 1998年 ローマ・ペサロ国際映画祭正式出品作品

「こどもみてえだなあ」

過ぎていく、それぞれの時間。

いつものように

JUST ANOTHER DAY
 ENGLISH SUBTITLED

1997年/日本映画/カラー
 河野智典 高瀬アラタ 石川七恵 今川菊生
 KONO TOMONORI TAKASE ARATA ISHIKAWA NANAE IMAGAWA KIKUO
 監督・脚本 けんもち聡 (第一回監督作品) 撮影 宮野ヒロキ 録音 渋谷拓生
 KEMMOCHI SATOKI MIYANO HIROKI SHIBUYA TAKUO
 整音 加藤麻子 助監督 山本賢二 制作 長濱智子 ネガ編集 宮澤誠一
 KATO ASAKO YAMAMOTO KENJI NAGAHAMA TOMOKO MIYAZAWA SEIICHI
 英語字幕 島内哲朗 アートディレクション 三浦一浩
 SHIMAUCHI TETSURO MIURA KAZUHIRO
 製作・配給 HOPS-U Films



「あ、オレのかけらだ」
何かを求める3人の、すごく身近な物語

東京。誰の否定もしないですべてを受け入れてくれる街。それは時としてやさしく、時として残酷。だけど今は「ここにいてもいい」と甘えさせてくれる、そんな場所。「何か足りないんだよね」ここには無数の若者がいる。ふとしたきっかけで出会った3人。彼らが交わす飾りのないコミュニケーションの中に見え隠れする、ドキッとするような現実。たぶんもう、十年前にも、十年後にも訪れることのない今だけの時間。「いつものように」過ぎ去っていく時のはかなさを、日常の映し鏡のように描いたこの作品は、なんだかとても新鮮な、現代の「東京物語」だ。

◇この映画の独特な個性に私は共鳴を受けた。彼の次なる作品を想像するだけで、私は未来が待ち遠しくなる。
アップス・キアロスタミ（イラン・映画監督『桜桃の味』『そして人生はつづく』）

◇1日は24時間あるんだということ。ふいな出会いが暮らしの中にあるということ。あらためて実感しました。監督は、時と人間をよく知っている人だと思います。
金子ありさ（脚本家・フジTVドラマ『ブラザーズ』『イヴ』）

◇ありふれた若者の日常描写のなかに、したたかな構成と演出が潜んでいて、いつのまにか、作られた物語であることさえ忘れさせられてしまう映画である。
榎戸耕史（映画監督『渇きの街』『ありふれた愛に関する調査』）

いつものように
1997年/日本映画/35mm
カラー/スタンダード
出演 河野智典
高瀬アラタ
石川七恵
島田朋子
今川菊生
監督・脚本 けんもち聡
宮野ヒロキ
撮影 渋谷拓生
録音 加藤麻子
整音 山本賢二
助監督 長濱智子
制作 ネガ編集 宮澤誠一
製作・配給 HOPS-U Films

世界にちりばめられた“意外”

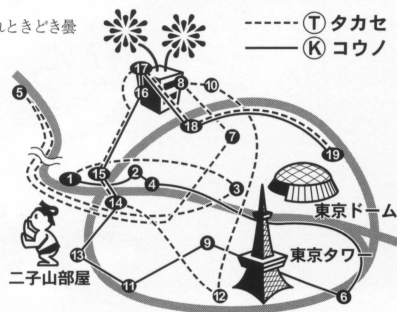
監督・けんもち聡をはじめ、キャスト、スタッフ、すべてが無名の新人のこの映画『いつものように』は、今アジアで最も注目されている釜山国際映画祭に突如として現われた。各国映画祭のグランプリ作品がひしめくコンペティション部門の中、唯一のハンドメイド映画と言って良いこの作品が『HANA-BI』『萌の朱雀』などと並んで、韓国の若者から熱狂的な支持を受けたことは意外ですらあった。意外はスウェーデンでも。ストックホルム国際映画祭の上映後、シャイで静かな国民スウェーディッシュから驚くほどに同調の反応を得た。アジア、北欧の2国と国境を隔ててパーソナルな関係を結べたことの意外性がもうすぐ日本でも。

ものがたり

思い出はいつも夜に

大分出身のコウノ。バイク便のライダー、タカセ。東京で出会ったふたりはいつまでたっても男の子気分が抜けない20代半の「おとな子供」たち。ある日、ふたりは同じ年恰好の女性、ナナエと知り合う。沖縄から上京して来たという彼女は“絵本を描きたい”という夢に向かって地道に頑張っている、という。夜の街へと繰り出す3人。初対面同士のぎこちないひとときのなかで、出発点が似ているコウノとナナエは、いつしかお互いのことが気になりだしていく…。

3月19日(水) 晴れときどき曇



*Tはタカセ、Kはコウノ

- 1◇1:15/T.K 中野アパート、雑誌“もんちゃっく”について 2◇4:00/K 新宿シティホテル、成人式典 3◇9:00/T 飯田橋電話BOX、一日の始まり
- 4◇10:15/K 新宿中央公園、テーマソングの作曲 5◇10:30/T 八王子薬品工場、荷を片手に中山さんを探す 6◇12:00/K 有楽町ラーメン屋裏口、中国人を待ちながら
- 7◇13:15/T 池袋、“ヤスイカメラヤサンハドコ?” 8◇13:30/T 練馬マンション、イラスト原稿を受け取りに 9◇14:00/K 六本木クラブ、リプトンの営業
- 10◇14:30/T 練馬くすり屋、ジャンプ訪ねて三千里 11◇15:15/K 目黒銭湯、安い寿司屋情報入手~ボスに報告 12◇20:00/T 三田出版社、無事原稿の配達終了
- 13◇20:00/K 渋谷パチンコ店、居眠り防止の気付薬を 14◇20:45/T.K 新宿沖縄料理店、タカセとコウノ合流 15◇23:30/T.K 新宿ゲーセン前、夜道で記念撮影
- 16◇27:00/K 練馬マンション部屋、運命の瞬間 17◇27:30/T.K 練馬マンション屋上、花火大会 18◇30:15/T.K 目白駅前、一日はまだ終わらない
- 19◇30:45/T.K 上野駅ホーム、そしてふたりは…

6月20日よりレイト・ロードショー!

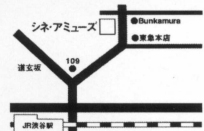
連日 夜9:10~

特別鑑賞券1,300円絶賛発売中(当日1,500円均一)



シネ・アミューズは新しい作家を応援しています。

当劇場窓口および都内各プレイガイド、チケットセゾン、チケットぴあにてお買い求めください。当劇場窓口でお買い求めの方にはもちろんオリジナル・ポストカードをプレゼント!
★当劇場では、場内での飲食はお断りしております。場内ロビーにてお召し上がりくださいませ。
★自由席/お立ち見及び上映開始後の入場はできません。



渋谷・文化村通り東急本店前フォンティスビル4F
お問い合わせ: TEL.03-3496-2888